



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 東大

上場会社名 山崎製パン株式会社

コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL 03-3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	477,005	3.5	15,720	1.1	15,991	1.1	7,800	107.8
23年12月期第2四半期	460,848	△2.3	15,551	△8.2	15,810	△9.3	3,754	△51.5

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 9,091百万円 (158.8%) 23年12月期第2四半期 3,513百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	35.53	—
23年12月期第2四半期	17.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	626,698	257,124	37.8
23年12月期	633,858	252,388	36.6

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 237,021百万円 23年12月期 231,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	15.00	15.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	953,000	2.2	32,000	11.6	33,000	11.4	14,000	74.5	63.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	220,282,860 株	23年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	743,293 株	23年12月期	721,675 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	219,550,959 株	23年12月期2Q	219,598,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、平成24年8月7日(火)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 販売実績	12
4. 「参考資料」	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の本格化やエコカー補助金等の政策効果もあり、内需が堅調に推移する下で景気は緩やかな持ち直しの動きを示しました。

当業界におきましては、デフレ状況が続く市場環境の下でお客様の低価格志向が強まり、販売競争が激化するとともに、主原料の小麦粉が昨年7月に大幅に値上げされた影響が残るなど収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは製品の品質改善と新製品開発に積極的に取り組み、「春のパンまつり」を活用して主力製品の取扱拡大をはかるとともに、低価格帯への製品対応を強化するなど、市場動向に即応した部門別製品施策、営業施策を推進してまいりました。

また、前年の第2四半期は、東日本大震災後のパン類の需要急増を背景に、当社グループにおいては品種数を絞り込んで効率的な生産・販売体制を維持し、販売促進費用を抑制しつつ売上を伸長することができましたが、震災後1年が経過した当第2四半期は、お客様の製品選択が低単価製品に移行し販売競争が激化する中で販売促進費や広告宣伝費が増加するとともに、品種数の増加に伴い事業所間の配送が増加したことによる物流費の増加もあり、前年同期と比べて販売費用が増加しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,770億5百万円（対前年同期比103.5%）、営業利益は157億20百万円（対前年同期比101.1%）、経常利益は159億91百万円（対前年同期比101.1%）、四半期純利益は78億円（対前年同期比207.8%）となりました。前年同期において、東日本大震災関連費用や資産除去債務の過年度分を特別損失に計上したこともあり、四半期純利益は大幅に増加しました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

①食パン部門（売上高495億18百万円、対前年同期比101.6%）

食パンは、ヤマザキの技術力を結集した中間価格帯の新製品「ロイヤルブレッド」や低価格帯の「モーニングスター」がお客様の好評を得て売上増に寄与いたしました。また、主力の「ダブルソフト」の売上回復もあり、食パンの売上は堅調に推移しました。

②菓子パン部門（売上高1,657億20百万円、対前年同期比103.8%）

菓子パンは、品質の優位性を背景にフル価格帯の製品施策を推進し、ヤマザキ菓子パンシリーズやミニパンの薄皮シリーズなど主力製品が伸長し、好調な売上となりました。「ランチパック」は、主力製品の拡販と価格帯別の対応強化により大きく伸長しました。また、さっくり、しっとりした生地にも口溶けのよいクリームをサンドした新製品「ヴィエノワーズミルク」が寄与し、ハードロールは大幅な売上増となりました。

③和菓子部門（売上高322億52百万円、対前年同期比100.5%）

和菓子は、串団子・大福・まんじゅうなどの和生が堅調に推移するとともに、「具たっぷりシリーズ」の品質改善効果や加温を要しない即食タイプ製品の寄与もあり中華まんの売上が伸長しました。

④洋菓子部門（売上高568億35百万円、対前年同期比101.1%）

洋菓子は、量販店向けの2個入り生ケーキが大きく伸長するとともに、「大きなツインシュー」などのシュークリームが引き続き好調に推移しました。また、不二家洋菓子店の増加やコンビニエンスストア向け製品の開発強化もあり、(株)不二家の洋菓子事業が好調に推移しました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高573億17百万円、対前年同期比111.5%）

調理パン・米飯類は、主要取引先のコンビニエンスストアチェーンの売上が好調に推移したことや取引店舗数の拡大もあり、売上が伸長しました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 781 億 52 百万円、対前年同期比 101.8%）

製菓・米菓・その他商品類部門は、(株)不二家の「ルック」などのチョコレート、ヤマザキ・ナビスコ(株)の「リッツ」や「オレオ」、(株)東ハトの新製法のポテトスナック「あみじゃが」が伸長しました。

以上の結果、食品事業の売上高は 4,397 億 98 百万円（対前年同期比 103.5%）、営業利益は 154 億 84 百万円（対前年同期比 100.7%）となりました。

<流通事業>

(株)デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、店舗売上の増加や協賛金収入の増加もあり、営業総収入は 331 億 78 百万円（対前年同期比 103.0%）となりました。収益面では、新規出店に伴う費用の増加もあり、営業損失は 8 億 37 百万円（前年同期は 8 億 77 百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は 40 億 28 百万円（対前年同期比 108.4%）、営業利益は 6 億 26 百万円（対前年同期比 96.9%）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は 6,266 億 98 百万円で、前連結会計年度末に対し 71 億 59 百万円減少しました。流動資産は 1,998 億 74 百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対し 40 億 56 百万円減少しました。固定資産は 4,268 億 24 百万円で、有形固定資産の減価償却が進んだこと等もあり、前連結会計年度末に対し 31 億 3 百万円減少しました。負債合計は 3,695 億 73 百万円で、前連結会計年度末に対し仕入債務や借入金等の減少もあり、118 億 95 百万円減少しました。純資産は 2,571 億 24 百万円で、利益剰余金が 42 億 51 百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に対し 47 億 35 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 37.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 157 億 81 百万円に加え、減価償却費 194 億 59 百万円、売上債権の減少額 113 億 69 百万円などにより 370 億 98 百万円のプラスとなりましたが、前年同期に対しては 28 億 68 百万円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより 208 億 30 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては投資額の増加により 51 億 76 百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより 110 億 29 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては 45 億 26 百万円支出が減少しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は 764 億 81 百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては 55 億 37 百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、復興需要等を背景に景気回復の動きが確かなものとなることが期待されますが、欧州債務問題による信用不安の影響や世界的な景気減速の懸念もあり、景気の先行きは予断を許しません。

当業界におきましては、デフレ状況の市場環境の下でお客様の低価格志向が続き、販売競争が一段と激化することが予想されます。また、4月に輸入小麦の政府売渡価格が平均 15%引き下げられたことを受けて、7月から小麦粉の値下げが実施されましたが、一方では、電力料金の値上げや国際穀物相場の高騰の兆しもあり、当面コストの上昇傾向が続くものと予測されます。

このような状況下にあります、当社グループは、小麦粉値下げに対応して、7月1日出荷分から主力製品の規格改定を実施し、品質とおいしさの向上をはかるとともに、一部製品についてはお

お客様のお買い求めになりやすい価格に改定し、競争力の強化をはかりました。今後、当社グループの技術を活用して積極的な新製品開発や主力製品のリニューアルを推進するとともに、品質訴求による販売促進活動を展開して売上の拡大をはかってまいります。また、市場動向を注視しつつ、部門別の製品施策、営業施策を推進するとともに、小委員会による「なぜなぜ改善」と「2本立ての5S」による業務改善に取り組み、内部管理体制の充実と業務の効率化をはかり、所期の目標達成を目指して努力してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,682	81,005
受取手形及び売掛金	94,923	83,997
商品及び製品	10,002	10,256
仕掛品	654	1,100
原材料及び貯蔵品	8,202	7,348
繰延税金資産	3,408	3,329
その他	12,812	13,561
貸倒引当金	△755	△723
流動資産合計	203,930	199,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	324,969	327,413
減価償却累計額	△236,671	△240,055
建物及び構築物(純額)	88,298	87,358
機械装置及び運搬具	416,803	420,420
減価償却累計額	△345,235	△351,891
機械装置及び運搬具(純額)	71,568	68,528
工具、器具及び備品	25,847	25,940
減価償却累計額	△22,440	△22,618
工具、器具及び備品(純額)	3,406	3,322
土地	111,913	112,551
リース資産	27,106	29,083
減価償却累計額	△9,871	△12,206
リース資産(純額)	17,235	16,876
建設仮勘定	3,513	4,556
有形固定資産合計	295,934	293,194
無形固定資産		
のれん	17,875	17,468
その他	13,757	14,303
無形固定資産合計	31,632	31,771
投資その他の資産		
投資有価証券	39,359	40,628
長期貸付金	1,571	587
繰延税金資産	26,510	25,655
その他	38,482	37,740
貸倒引当金	△3,564	△2,752
投資その他の資産合計	102,360	101,858
固定資産合計	429,927	426,824
資産合計	633,858	626,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,103	70,335
短期借入金	59,833	59,303
リース債務	4,880	5,368
1年内償還予定の社債	1,234	1,234
未払法人税等	8,008	7,718
未払費用	33,458	32,336
賞与引当金	3,907	3,495
販売促進引当金	931	824
店舗閉鎖損失引当金	12	18
資産除去債務	22	13
その他	33,338	31,235
流動負債合計	219,731	211,882
固定負債		
社債	4,933	4,316
長期借入金	42,355	39,381
リース債務	12,671	12,364
退職給付引当金	82,365	84,003
役員退職慰労引当金	3,233	3,236
債務保証損失引当金	1,377	—
資産除去債務	3,745	3,824
その他	11,055	10,564
固定負債合計	161,737	157,691
負債合計	381,469	369,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	205,414	209,666
自己株式	△722	△746
株主資本合計	225,381	229,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,840	7,533
繰延ヘッジ損益	△2	△1
土地再評価差額金	—	45
為替換算調整勘定	△292	△164
その他の包括利益累計額合計	6,544	7,411
少数株主持分	20,462	20,102
純資産合計	252,388	257,124
負債純資産合計	633,858	626,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	460,848	477,005
売上原価	290,596	301,531
売上総利益	170,252	175,473
販売費及び一般管理費	154,700	159,753
営業利益	15,551	15,720
営業外収益		
受取利息	37	34
受取配当金	444	416
固定資産賃貸料	275	291
為替差益	—	2
持分法による投資利益	163	165
雑収入	635	517
営業外収益合計	1,555	1,426
営業外費用		
支払利息	1,086	920
雑損失	209	235
営業外費用合計	1,296	1,155
経常利益	15,810	15,991
特別利益		
固定資産売却益	2	4
債務保証損失引当金戻入額	29	1,006
投資有価証券売却益	46	0
その他	6	177
特別利益合計	85	1,188
特別損失		
固定資産除売却損	825	731
震災関連費用	2,113	200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,696	—
店舗閉鎖損失	116	144
投資有価証券評価損	665	247
その他	349	74
特別損失合計	5,766	1,398
税金等調整前四半期純利益	10,128	15,781
法人税等	6,242	7,631
少数株主損益調整前四半期純利益	3,886	8,150
少数株主利益	132	349
四半期純利益	3,754	7,800

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,886	8,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△394	731
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	13	150
持分法適用会社に対する持分相当額	2	58
その他の包括利益合計	△373	941
四半期包括利益	3,513	9,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,383	8,667
少数株主に係る四半期包括利益	129	424

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,128	15,781
減価償却費	19,176	19,459
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,696	—
震災関連費用	2,113	200
のれん償却額	601	603
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△842
賞与引当金の増減額 (△は減少)	336	△411
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,622	1,613
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△29	△767
受取利息及び受取配当金	△481	△450
支払利息	1,086	920
持分法による投資損益 (△は益)	△163	△165
固定資産除売却損益 (△は益)	822	727
投資有価証券評価損益 (△は益)	665	247
売上債権の増減額 (△は増加)	20,847	11,369
たな卸資産の増減額 (△は増加)	934	224
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,848	△3,867
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,641	△132
その他	△2,073	1,199
小計	49,756	45,709
利息及び配当金の受取額	480	455
利息の支払額	△1,140	△934
法人税等の支払額	△7,866	△7,931
その他	△1,261	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,967	37,098
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	89	785
有形固定資産の取得による支出	△14,598	△18,005
有形固定資産の売却による収入	62	40
無形固定資産の取得による支出	△2,374	△1,104
投資有価証券の取得による支出	△371	△789
貸付けによる支出	△13	△81
貸付金の回収による収入	67	70
その他	1,482	△1,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,654	△20,830

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△317	△47
長期借入れによる収入	2,616	6,900
長期借入金の返済による支出	△11,682	△11,307
社債の償還による支出	△617	△617
リース債務の返済による支出	△2,179	△2,576
自己株式の取得による支出	△22	△25
自己株式の売却による収入	0	1
配当金の支払額	△3,288	△3,287
少数株主への配当金の支払額	△64	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,555	△11,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,755	5,265
現金及び現金同等物の期首残高	75,296	70,943
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	85	—
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	—	272
現金及び現金同等物の四半期末残高	84,137	76,481

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	424,920	32,214	3,714	460,848	—	460,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,116	2,750	12,898	18,765	△18,765	—
計	428,036	34,965	16,612	479,614	△18,765	460,848
セグメント利益又は損失 (△)	15,374	△ 877	646	15,144	407	15,551

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 407 百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	439,798	33,178	4,028	477,005	—	477,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,080	3,206	13,725	20,013	△20,013	—
計	442,878	36,385	17,753	497,018	△20,013	477,005
セグメント利益又は損失 (△)	15,484	△ 837	626	15,273	447	15,720

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 447 百万円は、セグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7)販売実績

(単位：百万円)

セグメントの 名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	前年同期比
食品事業	食 パ ン	48,740	49,518	101.6%
	菓 子 パ ン	159,730	165,720	103.8
	和 菓 子	32,092	32,252	100.5
	洋 菓 子	56,204	56,835	101.1
	調理パン・米飯類	51,417	57,317	111.5
	製菓・米菓・その他商品類	76,735	78,152	101.8
	食 品 事 業 計	424,920	439,798	103.5
流 通 事 業	32,214	33,178	103.0	
そ の 他 事 業	3,714	4,028	108.4	
合 計		460,848	477,005	103.5

4. 「参考資料」

(1) 平成24年12月期第2四半期の個別業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

①個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	319,551	2.9	11,215	△ 2.7	12,705	△ 2.1	7,492	25.6
23年12月期第2四半期	310,620	0.8	11,521	2.1	12,972	3.5	5,966	△12.6

②個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
24年12月期第2四半期	434,659	227,618
23年12月期	444,821	222,822

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 平成24年12月期第2四半期 個別販売実績

(単位：百万円)

期別 品種別	前第2四半期 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)		当第2四半期 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
	食パン	48,438	15.6%	49,063	15.3%	624
菓子パン	150,013	48.3	156,281	48.9	6,267	104.2
和菓子	31,969	10.3	32,139	10.1	170	100.5
洋菓子	41,157	13.2	41,212	12.9	55	100.1
調理パン・米飯類	18,293	5.9	19,686	6.2	1,392	107.6
製菓・米菓・その他商品類	20,748	6.7	21,168	6.6	420	102.0
合計	310,620	100.0	319,551	100.0	8,930	102.9